

豊能町くはたちのつどい

新成人の晴れの門出を祝し、1月9日、ユールホールにおいて、令和5年「はたちのつどい」を開催しました。

当日は、スーツや色鮮やかな振袖に身を包んだ新成人125人の出席があり、大人への新たな一歩を踏み出しました。

また、会場では久しぶりにあう旧友とともに写真を撮ったり、思い出話に花を咲かせたりする姿があらゆるところで見られました。

今年も、新型コロナウイルスの感染予防に十分注意をし、実施しました。



「新成人のごとば」

はしおか
あまふ
播岡 颯馬さん



本日、私たちが新成人としての第一歩を踏み出すにあたり、このような盛大な式典を開いていただき、誠にありがとうございました。また、ご多忙の中ご出席していただいたご来賓のみなさま、今日まで支え、ご指導いただいた諸先輩方、家族に、新成人代表として心より感謝申し上げます。

中学3年生のとき、社会科の授業で日本国憲法の前文を暗唱する試験がありました。私は、当時YouTubeに投稿されていた日本国憲法前文の覚え歌の動画を使って試験に向けて暗記に取り組みしました。試験当日は、憧れの社会科の先生の前でその覚え歌を披露しました。最後まで歌いきり、満点をもらったことは、私の吉川中学校での大切な思い出です。また、中学2年生のときは、生徒会副会長として、ふれあいの集いなどで地域の方々と交流させていただきました。小学1年生から中学2年生までの7年間、吉川剣道クラブ、東能勢剣道クラブで稽古し、豊能町の代表として大会に出場したこともありました。もし、私が自分を語るとしたら、「この豊能町という町は決して欠かせません。そして、豊能町でこうして成人を迎えられたことを心から嬉しく思います。」

私には二つの夢があります。一つ目は、将来ミュージシャンとして活動することです。大学では軽音楽部に所属し、ボーカルとしてステージに立っています。また、YouTubeに自分で収録、撮影、編集した歌の動画を投稿しています。ミュージシャンとしてはまだまだですが、自分のできることから少しずつ取り組んでいます。二つ目は、博物館学芸員になることです。現在、博物館学芸員資格を取得するために、

大学で専門的に学んでいます。そして、将来、音楽の博物館を創設することが、私の目標です。

私たちは、現在、学生として学び続けていたり、社会人として働いていたりさまざま道を行っていますが、中には、自分の進むべき道がわからなくなり、立ち止まってしまっている人もいるかもしれません。自分ではできない人間だ、人より劣っている、生きていても仕方がない、そのような風にもこの先の人生を不安に思っている人もいるかもしれません。私自身がそうでした。しかし、自分のやりたいこと、なりたいものに正面から向き合い、真剣に取り組んだことで、今の私の夢があります。自分のやりたいことに精一杯向き合うこと。そうして自分という作品を生み出すことによって、社会に貢献できるのではないかと、私は考えています。

まだまだ未熟な私たちですが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願います。感謝の気持ちと新成人としての決意を忘れずに、精一杯生きていくことを誓い、新成人のごとばとさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

「新成人のごとば」

ふなだ
つなひ
船田 陸人さん



新成人を代表しまして、ご挨拶させていただきます。船田陸人です。よろしく願います。

本日は、このコロナ禍で成人を迎えた私たちの門出に、このような素晴らしい式典を開催していただき、誠にありがとうございました。また町長をはじめご来賓の方々、そしてお忙しい中、ご出席いただきました多くの方々に新成人を代表して心より感謝申し上げます。

私たちが生まれてきて、はや20年。僕はこの豊能

町で生まれ育ち、この豊能町で成人式を迎える事ができ、誠に嬉しく思います。
僕には幼い頃からの夢があります。プロサッカー選手になることです。

小学校二年生の頃からサッカーを始めて、今までサッカーを続けてきました。

僕が小学生の時に、多くの友人の誘いと兄の影響で地元のサッカーチームに入り、サッカーをはじめました。そこで、いろいろな基礎などを教わりました。またサッカー面だけではなく、礼儀なども教わりました。小学生の頃からこのサッカーチームのおかげで人間性の面でも成長できたと思っています。そして中学校、高校、大学とサッカーを続け、人生で三回も全国大会に出場することができました。

中学、高校での全国大会はあまり良い結果ではなかったのですが、大学の全国大会では準優勝という形で終わることができ、すごく良い経験ができました。

このような結果が出たのは、これまで支えてくれた指導者の方々、チームメイト、友人、僕に関わってくれたすべての方々のおかげであり、そして一番の支えとなってくれた両親に感謝しています。

僕は12年間続けてきたサッカーを通じていろんな人との出会いがありました。そして、「この20年間の「出会い」というものを大切にしていきたいですし、人々への感謝の気持ちを忘れずにこれからの人生を生きていきたいと思っています。そして日々努力し続け、夢を実現したいです。僕は絶対にプロサッカー選手になるので応援の程よろしくお願いします。

今日、この日がすべての新成人にとって素晴らしい門出になることを願い、新成人の代表の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

「新成人謝辞」

内田 凜さん



本日は、成人を迎える私たちのために、このような盛大な式典を催していただき、誠にありがとうございました。そして無事に成人を迎えることができたのも、たくさんの方の愛情を注いで育ててくれた家族やお世話になった先生方、幼い頃から温かく見守っていただいた地域の皆さまのおかげであることを深く感謝し、ご挨拶申し上げます。

私は、現在この豊能町を離れ、大学へ通いながら一人で生活をしています。その中で私を感じたことがあります。それは、「ただいま」と言えば「おかえり」と迎えてくれる人がいること、帰ってくる場所があること、会いたいと思える人たちがいることがとても幸せだということです。思い返せば、休み時間に友人と遊んでいたこと、部活動に打ち込んでいたこと、興味のあることを学べていること、それら全てが幸せなのだと思います。そしてその幸せは私一人では感じる事ができなかつたことです。家族や友人、先生方などたくさんの方の存在があつてこそその幸せです。幸せの感じ方はそれぞれあると思いますが、より大きな幸せを探すよりも、まずは今の時が少しでも幸せであるのなら、今に感謝し、そばにいてくれる人たちのことを大切にしたいと思っています。

成人を迎えた私たちの中には、将来の夢に向かって進んでいる人や将来について考えている人、仕事を持ち自立している人など、それぞれの道を歩んでいるでしょう。それでも、本当にこれでよかったのか、この道が正解なのかと迷うこともあるかもしれません。しかし、自分が決めた道の答えがなければ間違

いもないと思います。正解がないのなら、自分で決めた道が自分の正解なのだとは思いますが、これから先、長い道にはなるとは思いますが、今ある幸せと感謝の気持ちを忘れず、自分の道を信じて進んでいきたいと思っています。

最後になりましたが、町長をはじめご来賓の方々、ご来席いただきました皆さまに新成人を代表して、心より感謝申し上げます。私たちは20歳という人生の大きな節目を迎え、大人として歩み始めましたが、まだまだ未熟です。そんな私たちに、どうか今後とも温かいご支援、ご指導のほどよろしく願っています。

簡単ではございますが、新成人代表の謝辞とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。



会場ではマスク着用を義務付けています。掲載の写真は、撮影のためにマスクを外していただいています。